

防災会からのお知らせ

暖房器具は正しく使いましょう

冬の生活に暖房器具は欠かすことのできないものです。最近、暖房器具も多機能・高機能化され、真冬でも快適な生活を送ることができるようになりました。ところが、その便利な暖房器具も取り扱い方を間違えれば、火災の原因となってしまうのです。

暖房器具に起因する火災の主な出火原因は以下のとおりです。

ストーブの上に掛けていた洗濯物が落下した

石油ストーブにガソリンを誤給油した

ストーブをつけたまま就寝し、寝返り等の際に布団が接触した

暖房器具からの火災を防ぐためには、取扱説明書などをよく読み、器具の正しい取扱いや管理をすることが大切です。



暖房器具による火災発生は、電気ストーブが最も多くなっています。電気を熱源とする暖房器具は、取扱いや維持管理が容易である、ガスや石油などの燃料を使用しないため空気を汚さない、給油の手間がかからないなどの理由から、手軽な暖房器具として広く使用されておりますが、より一層の注意が必要であり、使い慣れた器具でも常に注意する意識をもつことが大切です。

暖房器具からの火災を防ぐポイント

衣類の乾燥や可燃物の近くで使用しない！

ストーブの上で洗濯物を乾燥すると、落下した時、火災となるおそれがあるのでやめましょう。カーテンや衣類・布団などのそばでは使用しないようにしましょう。

スプレー缶などをストーブ・ファンヒータの上やそばには置かない！

スプレー缶などを近くに放置していると放射熱などで過熱され、缶の内圧が上昇して破裂し、爆発するおそれがあるので、絶対にやめましょう。除菌スプレー等も非常に引火性の強いものがあります。

寝るときや外出するときには必ず火を消しましょう！

寝るときや外出するときは暖房器具の火元を切る習慣を身につけましょう。



寒い季節暖房器具に頼りがちですが、体を動かし、寒さや風邪に負けない体づくりに頑張りましょう。